

第58回板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会 会議録

1 開催日時

令和3年1月8日(金)～同年1月22日(金)

2 開催方法

書面による会議

3 出席者

【委員14名】(敬称略)

八藤後会長、桑波田委員、佐々木委員、西端委員、堀井委員、アダムス委員、寺田委員、吉田委員、渡辺委員、木村委員、横山委員、竹澤委員、草深委員、辻委員(欠席4名)

4 配布資料

〔資料1〕板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025 実施計画2025(素案)に対するパブリックコメントの実施結果について

〔資料2-2〕板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025 実施計画2025(素案)からの変更点について

〔資料2-2〕板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025 実施計画2025(案)【本編】

〔資料2-3〕板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2025 実施計画2025(案)【概要版】

〔資料3〕板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会工程表

〔参考資料〕第10期板橋区ユニバーサルデザイン推進協議会委員名簿

5 協議会委員の意見要旨等

※表中の「ユニバーサルデザイン」は「UD」で統一している。

項目 項番	協議会委員の意見要旨	区の回答
資料1 No.19	視覚障がいのある方には少しの段差も必要だと知りました。すべて「何も無い」ことよりも、少しのアクションがあった方がいいという見方もあるのだと勉強になりました。	—
資料1 No.25	タウンモニターやeモニター、区長への手紙でより深い意見聴取ができるため、よい制度であると感じます。 これに加えて、区議会への請願・陳情などやパブリックコメントもインターネットで受け付けることができると、より多くの意見が集まると思います。	区議会への請願・陳情は制度上、書面での提出が必要となっています。一方、パブリックコメントについては、郵送のほか、メールやファクス、区のホームページの意見フォームからの提出も受け付けています。 引き続きより多くの方からご意見をい

項目 項番	協議会委員の意見要旨	区の回答
		ただけるよう取り組みます。
資料 1 No.26	区ホームページでアンケートを実施することを評価します。ぜひ実現してほしいです。	アンケート調査を実施する際には、様々な媒体で回答できるよう検討します。
【本編】 全体	<p>バリアフリーやUDといわれると、ハード面だけを捉えがちです。しかし、一番ハードルが高いのはソフト面、心の中の差別意識だと思っています。新型コロナウイルス感染拡大で浮き彫りになったのも「差別」でした。やはり、人の意識を変えるのは簡単ではないと考えます。そのため、UD計画の中で最初に掲げているのが「ひと」なのは、とてもいいと思っています。</p> <p>計画が着実に進み、障がい者や高齢者、子どもなど、すべての人が住みやすく安全な街になってほしいです。</p>	<p>コロナ禍の中、新たな課題に対する取り組みが求められています。</p> <p>引き続きUDの意識啓発を進め、多様な立場の人同士が理解し合えるよう、「お互いさま」の意識を浸透させていきます。</p>
【本編】 全体	コロナ禍の中、安全に安心して事業を行うための注意事項や心得についても言及できればよいと考えます。	「新しい日常」のもとで生じる多様な人の困りごとやその対応方法について検討し、UDガイドラインの更新の際に追加するなどの取り組みを検討します。
【本編】 全体	「フレイル」や「AIP」という言葉の意味を補足できるよう、注釈を追加してはいかがでしょうか。	ご意見を踏まえて、注釈を追加します。
【本編】 第 1 章	「1 目的」の中に「～すべての人にとってくらしやすい地域社会の実現をめざすUDへ考え方を発展させ、区政のさまざまな分野の取り組みに、ハード・ソフトの両面からこの考え方を取り入れて、人的介助の必要性をより少なくするとともに、だれもができるだけ、同じ場や状況のもとで、自由に行動できるまちをつくる必要があります。」とあります。視覚障がいのある方は、ハード面の対応	<p>視覚障がいのある方にとって、声かけやサポートなどのソフト面は必要不可欠なものであると認識しています。同様に、視覚障がいのある方に限らず、まちの中で困っている方に対して積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、UDの普及啓発を進めます。</p> <p>一方、ご意見をいただいた「人的介助」に関することは、「すべての人」を対象とするUD計画を策定した「目的」を説明</p>

項目 項番	協議会委員の意見要旨	区への回答
	<p>のみでは社会生活が難しいです。そこで、声かけや誘導によるサポートなど、ソフト面の対応を頼りにしています。</p> <p>そのため、現状の「人的介助の必要性をより少なくする」といった表現を削除する。もしくは、声かけや誘導を推奨する表現へ改めていただけますでしょうか。</p>	<p>している文章です。この目的は、人口減少に伴い、手助けが必要な方を支える担い手が不足していく現状を前提としております。そのうえで、人的介助を必要とする方へ支援を届けるために、ハード面やしくみなどで解決できるものを取り入れて、効率的に取り組んでいくという方向性を表現した文章です。</p> <p>そのため、現行どおりの表現とさせていただきます。</p>
【本編】 指針1	<p>「01 UDガイドライン」のコロナ禍での運用についても検討が必要になると思います。スパイラルアップの重要性をより強調してはいかがでしょうか。</p>	<p>だれもが社会参加しやすい環境整備を進めるため、「新しい日常」のもとで生じる多様な人の困りごとやその対応方法について検討します。そのうえで、UDガイドラインなどを活用した周知を進めます。</p>
【本編】 指針1	<p>「02 UD事例集の設置・活用」について。板橋区内のUD事例をホームページ上で見ることができないかと思っていましたので、この取り組みを楽しみにしています。</p> <p>ハード・ソフト両方の視点の事例を紹介することでUDへの理解が広がり、より身近なことに感じるきっかけとなることを期待します。</p>	<p>本事業は、区ホームページ上へUD事例集「いたばしUDのタネ」を設置するものとなります。事例集は、ハード・ソフト両面のUD事例を収集し掲載します。事例集を活用することにより、UDの普及啓発をスパイラルアップします。</p>
【本編】 指針1	<p>「02 UD事例集の設置・活用」について。UDの普及啓発をスパイラルアップするためには、あらゆる手段を使い情報を伝達することが必須だと考えます。</p> <p>その手段の一つとして、「10 UD出前講座の実施」と連動してはいかがでしょうか。</p> <p>現在、区内小中学校でUDの授業が行われています。しかし、保護者向けの授業</p>	<p>区内小中学校と連携して出前講座を開くことは、UDのスパイラルアップを図る上で効果的な取り組みであると感じます。例えば、学校の授業参観のプログラムに出前講座を組み込む、ということも想定できます。</p> <p>ご意見を踏まえて、より多くの方が参加できる出前講座となるよう検討します。</p>

項目 項番	協議会委員の意見要旨	区の回答
	<p>は行われていません。そこで、出前講座を活用して学校に出向いていただき、講座を開いていただきたいと思います。もし、学校以外の会場で出前講座が開かれるとしても、わざわざ申し込みをして足を運ぶのは保護者にとって困難です。しかし、わが子が通っている学校で行っていただければ、より多くの参加が見込まれると考えます。</p>	
<p>【本編】 指針2</p>	<p>障がい者にとってわかりやすいということは、外国人をはじめ、すべての人にとってわかりやすいと思います。例えば、ピクトグラムを使用するなど、だれもがわかりやすい表示を心がけてほしいです。</p>	<p>施策2-1「わかりやすい情報の提供など」を進め、見やすさとわかりやすさに配慮し取り組みます。</p>
<p>【本編】 指針2</p>	<p>「26 広報いたばしのUD化」について。区民や区に関心のある方が手にする広報紙は、絶えずだれもが読みやすいものとしていくことが求められています。その広報紙において、UDに配慮していくのはありがたいことです。そこで、UDフォントを使用している点を付け加えてはいかがでしょうか。</p>	<p>広報いたばしについては、令和2年度からUDフォントを採用し、だれも見やすく読みやすい紙面構成としています。引き続き、令和3年度からもUDに配慮した広報となるよう取り組みを進めていきます。</p>
<p>【本編】 指針2</p>	<p>「26 広報いたばしのUD化」について。広報いたばしは区民のよりどころとなる広報紙です。そこで、全世代が使う「37 板橋区統合アプリ『ITA-Port』の運営」、若手世代をメインとした「38 板橋区観光アプリ『ITA-マニア』の運営」、子育て世代がメインの「39 いたばし子育てナビアプリ」と連動してはいかがでしょうか。</p>	<p>板橋区統合アプリ「ITA-Port」では、広報いたばしや区ホームページに掲載しているイベント情報や暮らしに関するお知らせなどを配信しています。アプリの開発・運営を進める中で、様々な連動が生まれるよう検討します。</p>
<p>【本編】 指針2</p>	<p>板橋区ではGIGAスクール構想が始まります。そうすると、区内施設におけるWi-</p>	<p>区役所本庁舎や区内各地域センター等の防災拠点を中心に、無料Wi-Fiを設置</p>

項目 項番	協議会委員の意見要旨	区の回答
	<p>Fi環境の整備も求められていると考えます。区内施設でWi-Fiが利用できる環境を整備して、区民がいつでもどこでも気軽に、アプリ等を閲覧することができることを望みます。</p>	<p>しています。引き続き、設置について周知を図るとともに、施設利用者のニーズ等にあわせてWi-Fi環境の整備を検討します。</p>
<p>【本編】 指針2 指針4</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、区民の生活に大きな影響が出ています。また、終息の目途も立っていません。このような状況下だからこそ、必要な情報を的確に安全にすべての区民に届けるために、情報のUD化は急務だと考えます。</p> <p>特に、取り組みの指針2や4の施策には、情報のUDに関わるものが多く含まれています。コロナ禍での事業実施・運用を前提に、柔軟に推進していただきたいです。</p>	<p>施策2-1「わかりやすい情報の提供など」を進め、情報を必要とする人が、必要な時に容易に受け取ることができる取り組みを進めます。</p> <p>また、コロナ禍を契機として、働き方や事業運営のデジタル化が進む中で、だれもが理解しやすく、参加しやすいものとなるよう取り組みます。</p>
<p>【本編】 指針3</p>	<p>「64 鉄道駅エレベーターの設置促進」について。</p> <p>「複数ルートを整備について、関係機関との必要な協議調整を行っていく」とあります。1ルート整備後の取り組みとして、複数ルートへ移行していくことは、社会的要請などから見て鉄道事業者を含め検討していく事項であると考えます。</p> <p>しかし、特に地下鉄にあっては、必要な用地確保、費用、維持管理など様々な課題があります。</p> <p>区にあっては、鉄道事業者に対する要望にとどまらず、用地提供、費用補助制度の創設、区内再開発事業の誘導によるバリアフリールートの実現など、一歩進んだ取り組みの実施を要望します。</p>	<p>鉄道駅エレベーターの設置に係る複数ルートを整備するにあたっては、鉄道事業者および地域住民と連携して取り組んでいく必要があると認識しています。</p> <p>一方、整備に向けてまちづくり事業との連携が必須となり、長期的なスパンで検討していく必要があります。</p> <p>そのため、ご意見のありました部分に関しましては、今後の研究課題とします。</p>

項目 項番	協議会委員の意見要旨	区の回答
【本編】 指針3	以前訪問した小学校のだれでもトイレを使用したところ、サイドレールが片側にしかなく使用困難でした。 他校も併せて、UDチェックをお願いします。	学校を含む区の公共施設は、計画的に改修を進めています。改修の際には、UDに配慮し、だれもが利用しやすい設備となるよう整備を進めていきます。

※その他軽微な修正に関するご意見

6 所管課

福祉部障がい政策課ユニバーサルデザイン推進係：03-3579-2252